

発行:余市協会病院

発行日:令和元年5月1日

発行人:吉田 秀明

編集人:広報委員会

お問い合わせ:0135-23-3126

VOL.179 5月号

はつらつ
Plus

臨床統括部長 草野 満夫 着任のご挨拶

この4月から余市病院で勤務しております草野 満夫と申します。



高校まで東京に、Boys be ambitious!に惹かれて北大に。大学時代は医学部サッカー部に、そして各勤務先の地域のサッカーチームに所属しました。昭和50年から新設旭川医科大学に18年お世話になり、その間、1年間スウェーデン・ルンド大学外科に留学しました。その後、東京の昭和大学の外科に奉職、定年後は釧路労災病院に4年、また今年の4月までは両親の故郷である福島の太田熱海病院で回復期リハビリテーション医として勤務していました。

終の住処は人生の半分を過ごした北海道との思いを強くし、”come back salmon”のごとく北海道に戻ってきました。この度、本院に奉職する機会をいただき、吉田院長はじめ協会病院の皆様には心から感謝申し上げます。

専門は消化器外科でしたが、数年前からキャリアシフトして、リハビリも含めた総合診療的な部門に入りましたが、外科の助手、鉤引きはまだ出来そうです。私のもうひとつのmissionはlife workでもあるICG蛍光法の臨床応用を広げることです。症例を紹介いただきたいと思います。

余市には高校・大学時代の先輩や仲間、そして下宿が一緒だった後輩など頼りになる仲間が少なくなく、心強いです。

まだ勤めて日が浅いのですが、先生方、病院スタッフが皆明るく、はつらつと働いており、この病院に奉職できたことを有り難く思う毎日です。

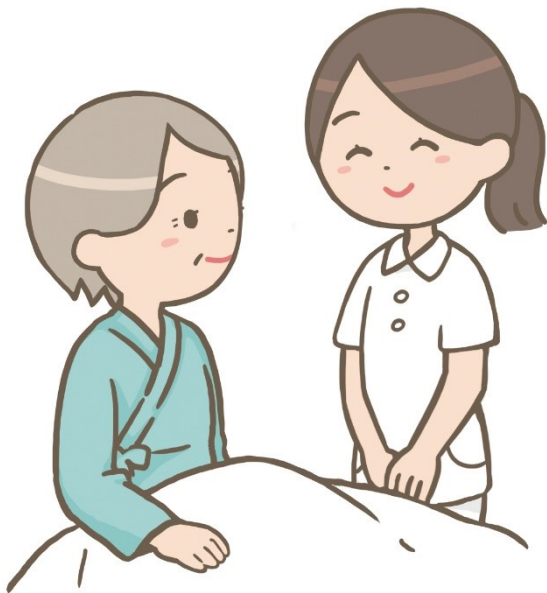
スポーツ、酒飲み大好き人間ですので、いつでも誘ってください。地域の患者さんのお役に立てるよう、頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

草野 満夫



新入職員研修を行いました

平成から令和に移行する記念すべき本年度も沢山の元気な職員が入職しました。
既に新入職員研修を終えて各部署に配属されております。これからの活躍に期待しております。地域の皆様もどうぞよろしくお願いいたします！



北海道大学病院の蓮池清美先生をお招きして、接遇とマナーの基本についての研修会が開催されました。
日頃から自分自身は笑顔で行動出来ているか、マナーの基本である、身だしなみ・表情・姿勢・挨拶・言葉遣いは相手に不快な印象を与えないか、今回の研修を通して日頃の行動一つ一つを振り返ることが出来ました。より良い病院を目指して頑張ります！

【講師】北海道大学病院

蓮池 清美先生

【日時】三月十二日（火曜日）

接遇研修を行いました



一階受付ロビーに五月人形を飾りました。
地域のお子様達の健康と成長をお祈りすると共に、入院患者様におかれましても季節を感じ取っていただければ幸いです。病院ににお越しの際は是非ご覧下さい。

五月人形を飾りました



救急件数 (3月)

外来受診204件 うち入院34件
救急車来院62件 うち入院22件